

事業者排出量削減報告書

(宛先) 京都市長		平成24年10月4日					
報告者の住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地) 京都市下京区烏丸高辻東入ル高橋町630番地		報告者の氏名(法人にあっては、名称及び代表者名) 株式会社ホテルプリンセス京都 代表取締役社長 篠 信 治 電話 075 - 342 - 2111					
主たる業種	旅館・ホテル	細分類番号	7	5	1	1	
事業者の区分	京都市地球温暖化対策条例第2条第1項第6号	<input checked="" type="checkbox"/> ア <input type="checkbox"/> イ又はウ <input type="checkbox"/> エ					
計画期間	平成23年4月から平成26年3月まで						
基本方針	平成22年度を基準に平成25年度の温室効果ガス排出量を15%以上削減する						
計画を推進するための体制	代表取締役社長を本部長とする地球温暖化対策会議において、平成22年度を基準とする新たな実行計画の進捗管理を実行する						
温室効果ガスの排出の量	温室効果ガスの排出の量	基準年度 (20~22)年度	第1年度 (23)年度	第2年度 (24)年度	第3年度 (25)年度	増減率	
	事業活動に伴う排出の量	2,527.2 トン	2,245.0 トン	トン	トン	-11.2 パーセント	
	評価の対象となる排出の量	2,409.9 トン	2,245.0 トン	トン	トン	-6.9 パーセント	
	実績に対する自己評価	空調設備の時間管理及び熱源負荷の重点監視に伴う運転抑制の実行と照明設備のLED化により目標の10%以上の削減を達成した					
原単位当たりの温室効果ガス排出量等	事業の用に供する建築物の用途	原単位の指標	基準年度 (22)年度	第1年度 (23)年度	第2年度 (24)年度	第3年度 (25)年度	増減率
	宿泊施設	事業活動に伴う排出の量 (延床面積×1/100)	11.61	10.31			-11.20 パーセント
		事業活動に伴う排出の量 ( )					パーセント
	実績に対する自己評価	空調設備の時間管理及び熱源負荷の重点監視に伴う運転抑制の実行と照明設備のLED化により目標の10%以上の削減を達成した					
重点的に実施する取組の実施状況		基準年度 (22)年度	第1年度 (23)年度	第2年度 (24)年度	第3年度 (25)年度	備考	
		5.0 パーセント	50.0 パーセント	パーセント	パーセント		
具体的な取組及び措置の内容	(23)年度	照明器具のLED化、遮熱カーテンの導入に伴う空調負荷の軽減及び設備機器の運転管理					
	(24)年度						
	(25)年度						
通勤における自己の自動車等を使用することを控えさせるために実施した措置	措置の内容	就業規則にて自動車通勤を禁止している					
	上記の措置を実施した結果に対する自己評価	継続実施にて排ガス抑止に貢献出来ている					
森林の保全及び整備、再生可能エネルギーの利用その他の地球温暖化対策により削減した量	区 分	第1年度 (23)年度	第2年度 (24)年度	第3年度 (25)年度	備考		
	森林の保全及び整備によるもの	トン	トン	トン			
	地域産木材の利用によるもの	トン	トン	トン			
	再生可能エネルギーを利用した電力又は熱の供給によるもの	トン	トン	トン			
	グリーン電力証書等の購入によるもの	トン	トン	トン			
温室効果ガス排出量の削減又は吸収の量の購入によるもの	トン	トン	トン				
合 計		0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン			
地球温暖化対策に資する社会貢献活動	ホテル周辺の日常清掃活動 「安心救急ネット京都」加入・災害時協力井戸の家・OK企業認定 ゴミの再生資源化の推進と発生抑制の取組、エコキャップの回収活動						
特記事項							

注1 該当する□には、レ印を記入してください。特定事業者以外で自主参加される事業者の方は、レ印の記入は不要です。

注2 「細分類番号」とは、統計法第2条第9項に規定する統計基準である日本標準産業分類の細分類番号をいいます。

注3 「基準年度」とは、計画期間の前年度又は計画期間の前の三年度の事業活動に伴う排出の量又は原単位の数値の平均をいいます。

注4 「増減率」とは、基準年度と比較した計画期間の平均の増加又は減少の割合をいいます。